

参加無料

詳細は中面

富良野農業 **3**つのカイゼン

生産現場

雇用環境

品質管理

ふらの未来農業 EXPO2020

富良野農業カイゼンプロジェクト

ふらの未来農場フォーラム

『コロナ時代の農業を考える』

11/11 **水** 13:30-16:00
フラノマルシェ2 タマリーバ



北海道大学准教授 東山 寛 氏

ふらの未来農業ゼミナール

『雇用環境の改善ゼミ』

11/12 **木** 13:30-16:40
フラノマルシェ2 タマリーバ

『生産現場の改善ゼミ』

11/13 **金** 13:30-15:30
フラノマルシェ2 タマリーバ

『品質管理の改善ゼミ』

11/20 **金** 13:30-14:15
富良野市役所大会議室

『鳥獣害対策ゼミ』

10/22 **木** 富良野市役所大会議室
14:00-15:30

『農業の見える化・魅せる化ゼミ』

11/19 **木** フラノマルシェ2
タマリーバ 13:30-16:15
12/16 **水** フラノマルシェ2
タマリーバ 11:00-15:00

※新型コロナウイルスの影響により内容が変更となる可能性がございます。

EXPO2020は「新北海道スタイル」を実践します。



マスク着用・
手洗いを徹底します



健康管理を
徹底します



こまめに換気します



消毒・洗浄します



一定の距離を
とっています



お客さまへ咳エチケット・
手洗いをお願いします



取組を
お知らせします



北海道コロナ通知システムと
接触確認アプリ(COCA)を
お客様にお知らせします

主催 富良野市

申込・問合せ 富良野市農林課 ☎ 0167-39-2309

協力 JAふらの

ふらの未来農業フォーラム

～コロナ時代の農業を考える～

とき 11/11 (水) 13:30～16:00 ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

コロナ×農業＝新型コロナウイルスは農業に何をもたらしたのか。この一年を振り返りながら、富良野の農業を持続させるために必要なこと、求められることとは何なのかについて東山寛氏の基調講演と座談会で深めていきます。

「新時代の北海道農業」

【講師】北海道大学准教授 東山 寛氏



1967年札幌市生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了、農学博士。秋田県立大学生物資源科学部講師、同大学助教授を経て、2016年より北海道大学大学院農学研究院准教授。現在は北海道をフィールドに、担い手育成対策の検討、地域農業振興計画の策定支援に従事する。[北海道農業関係の近著] 北海道から農協改革を問う(共著・2017年)(2018年JA研究賞受賞) 地域を支える農協(共著・2017年)(2020年日本協同組合学会賞・学術賞(共同研究)受賞)

「コロナ時代に農業を持続させるために」

【司会】北海道大学准教授 東山 寛氏
【パネリスト】農林水産省北海道農政事務所長 山田 英也氏
ふらの農業協同組合 理事 小師 和彦氏
富良野メロン生産組合 組合長 亀淵 貴史氏

こんな方に
受けて欲しい

- コロナウイルスが農業に与えた影響を知りたい
- ヘルパー、パート、外国人材を雇用している
- コロナ時代の農業経営を模索している

ふらの未来農業ゼミナール

～生産現場の改善ゼミ～

とき 11/13 (金) 13:30～15:30 ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

上川農業改良普及センター富良野支所技術報告会

「地域に根差した栽培技術の今」

【司会】上川農業改良普及センター富良野支所地域第1係長 八田 洋氏

- ① 水稲「近年、取り組まれている、新しい栽培技術について」(直播、密植等)
- ② 畑作「馬鈴しょ収穫後のトラクタ踏圧による野良いも軽減対策試験」
- ③ 園芸「収穫後のかぼちゃ乾燥方法に関する検証」
- ④ 畜産「飼料作物の栽培を考える」

こんな方に
受けて欲しい

- 富良野に合った新しい栽培技術を知りたい
- 省力化・効率化をさらに進めたいが、どう改善したらよいかわからない

ふらの未来農業ゼミナール

～品質管理の改善ゼミ～

とき 11/20 (金) 13:30～14:15 ところ 富良野市役所大会議室

コロナ時代こそGAPに取り組んで食卓に安心・安全を届けよう。

「GAPが導く信頼される産地」

【講師】JA北海道中央会

こんな方に
受けて欲しい

- 農産物の付加価値を高めたい
- 農産物の安全性を担保したい

ふらの未来農業

EXPO2020

富良野農業カイゼンプロジェクト

ふらの未来農業ゼミナール

～農業の見える化・魅せる化ゼミ～

とき 11/19 (木) 13:30～16:15 ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

担い手確保×スマート農業＝農業を見える化し事業承継で未来に繋げる総合産地

「スマート農業のすすめ

～農業を情報技術でかっこよく稼げて感動があるものに～

【講師】JAISA 代表理事 渡邊 智之氏



一般社団法人日本農業情報システム協会(JAISA)代表理事、スマートアプリコンサルタンツ合同会社(SAC)代表/CEO、総務省地域情報化アドバイザー、大手IT企業に入社し、主に各種センサーによる生育関連データ蓄積及び作業記録アプリ等の開発を主導しつつ、農業法人に飛び込み農業を学ぶ。その後農林水産省でスマート農業推進担当として、政府のスマート農業関連戦略策定や現場の普及促進に努める。著書に「スマート農業のすすめ～次世代農業人[スマートファーマー]の心得～(産業開発機構株式会社)がある。

直売×ネット＝コロナ時代のネット販売の状況とデジタル化が進む中での農産物の魅力の伝え方について、事例を交えながら講演します。 **リモート**

「農業の魅せる化で

販売戦略をスマートに」

【講師】BASE株式会社 Business&Marketing Division 宮本 順一氏



和歌山県和歌山市出身。BASEでは主にセミナー講師やショップ開設支援などを務めています。

こんな方に
受けて欲しい

- 農家子弟や事業承継候補者がいる
- 農業の見える化を図りたい
- ネットショップに興味はあるがなかなか手が出ない
- 自分と商品の価値をネット販売でもちゃんと伝えたい

とき 12/16 (水) 11:00～15:00 ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

ネットショップ運営事業者が直接教えてくれるネットショップの開設から集客まで。

午前「ネットショップ開設の基礎講座」 **リモート**

午後「SNSを活用したネットショップ集客術」

▶15:00から個別相談会先着5名×20分(事前予約制)

【講師】BASE株式会社 Business&Marketing Division 宮本 順一氏

こんな方に
受けて欲しい

- ネットショップに興味がある
- SNSと連携させ、効率的な集客を図りたい
- ネットショップの運用等について相談したい



令和2年度 6次産業化促進事業 6次産業化セミナー

主催 富良野広域圏通年雇用促進協議会

1回目 11/26 (木) 13:30～15:30

- なぜ伝える商品づくりが重要なのか?
- デザインで何が変わるのか?
- 農業デザインって?

ところ コンシェルジュ フラノ 2F 大ホール(両日とも)

※両日とも15:30から個別面談(希望者のみ)

2回目 12/17 (木) 13:30～15:30

- デザインは企業戦略である!
- デザインのビフォーアフターと実践例
- 一番大事なことは○○○○!

農業や地域を取り巻く環境は激変しています。新しい時代を前に進んでいくために求められているのは伝える力です。地域にはまだ知られていない、素晴らしいモノとヒトとコトが数多く眠っています。地域のブランド価値を高め、おいしさと感動を伝えることが必要です。このセミナーでは「良いものをつくる」だけでは生き残ることができない時代に必要不可欠な、デザインとブランディングを活用しなぜ農業にデザインとブランディングが重要なのかを考えながら、実践していく方法と秘密を紹介します。

「これだけ変わる! なぜ農業にデザインとブランディングが重要なのか?」

【講師】株式会社ファームステッド代表取締役 ブランドディレクター 長岡 淳一氏

1976年北海道帯広市生まれ。大学卒業までスピードスケートの選手として、全国大会での優勝実績も。現役引退後、地元へUターン。世界各国を回った経験を生かし、地元帯広市にてアパレル事業・飲食事業など展開し、マルチな才能を発揮。その後2013年「農業にこそデザインを」をコンセプトとした、株式会社ファームステッドを設立。デザインで農業と地域を発信するモデルを作り、現在は常に日本全国を駆け回り、農業者や食品加工会社から依頼を受け、ブランドディレクターとして農業や地域のブランディングやプロデュースを行うなど、農業の価値向上を高め、農業デザインの第一人者として多岐に渡って活躍中。講演活動も全国各地から依頼を受け多数開催。グッドデザイン賞など受賞歴も多数。農林水産省六次産業化プランナー。



ふらの未来農業ゼミナール

～雇用環境の改善ゼミ～

とき 11/12 (木) 13:30～16:40 ところ フラノマルシェ2 タマリーバ

1日バイト×農業＝農業に特化した1日バイトアプリを開発した事業者が語る、働き手から選ばれる農家とは、そして新たな労働力の掘り起こしと地域活性化とは。

「1日バイトで見えた選ばれる農家」

【講師】Kamakura Industries株式会社 代表 原 雄二氏



北海道陸別町出身。室蘭工業大学情報工学専攻修士卒。NECソフトウェア株式会社を経て独立後、2018年より農業に特化したITベンチャーであるKamakura Industries(株)設立。大手銀行や大手キャリアなどの大規模なサービス構築の経験多数。現在は一年の半分以上を出張しながら、IT業界で20年培った技術と経験を農業界に活かすように活動中。

改善×農業＝小さな積み重ねで働き手からまた働きたいと思われる農園へ。

前半は講演、後半はワークショップを行い、課題を解決するためのカイゼンの視点や考え方を学びます。

「経営改善で見直そう! 働きたくなる農園づくり」

【講師】ファームサイド株式会社 代表取締役/阿部梨園マネージャー 佐川 友彦氏



1984年生まれ。東京大学農学部、同修士卒。外資メーカーDuPont社の研究開発職を経て、2014年9月より阿部梨園に参画。小規模ながらスマート経営と、直売率99%超を達成した。阿部梨園の改善事例300件を公開するクラウドファンディングを実施し、300人以上から約450万円の支援を集めて話題を呼んだ。その成果はオンラインメディア「阿部梨園の知恵袋」農家の小さな改善事例300」として無料公開されている。その後、ファームサイド株式会社を起業。講演活動や経営コンサルティングで全国各地を回り、農家の経営体質改善を旗振りしている。2020年9月、ダイヤモンド社より「東大卒、農家の右腕になる。小さな経営改善ノウハウ100」を出版。

こんな方に
受けて欲しい

- 農作業ヘルパーやパートアルバイトを雇用している。
- リピーターを増やし、定着化を図りたい。
- 明日からでもできる改善のノウハウを知りたい。

ふらの未来農業ゼミナール

～鳥獣害対策ゼミ～

とき 10/22 (木) 14:00～15:30 ところ 富良野市役所大会議室

共催 富良野市集落協議会

農産物×野生動物＝知ることから始める対策3ステップ、環境管理、防止柵、そして捕獲へ。地域の特徴や実状を踏まえた被害対策について学びます。

「みんなで防ごう! 地域ぐるみで鳥獣害対策」

【講師】麻布大学 客員教授 江口 祐輔氏



1969年神奈川県生まれ。農水省中国農業試験場研究員、麻布大学講師等を経て現職。そのほか麻布大学客員教授も務める。専門は動物行動学、動物管理学。イノシシを始め様々な動物を対象に、運動・感覚・学習能力の解明と鳥獣害対策の研究と普及に取り組む。著書に「本当に正しい鳥獣害対策Q&A」ほか多数

こんな方に
受けて欲しい

- 被害がなかなか減らない
- 防止柵の有効な設置方法を知りたい